

本隆寺修理現場見学研修会

(重要文化財本隆寺本堂ほか2棟保存修理工事現場)

平成30年度 (一社)日本建築協会京都支部

(公社)日本建築家協会近畿支部 京都地域会 共催

昨年度に続き伝統的な日本の建築に関する研修、又文化財の修理活用設計技術者を育成する為の研修として、本隆寺の修理現場見学研修会を開催します。本隆寺は京都・西陣に在る法華宗真門流総本山の寺院です。現在、京都府文化財保護課による保存修理工事中ですが、御理解をいただき見学会開催の運びとなりました。皆様の御参加をお待ちしております。

(一社)日本建築協会 京都支部長 長瀬 博一

開催日：平成31年2月21日(木) 午前/10時～11時半頃、午後/13時～17時半頃

会場：「本隆寺」 京都市上京区智恵光院通五辻上ル紋屋町330(建物の概要と見取図は別紙参照)

内容：午前/保存修理工事現場の見学、午後/文化財保存修理に関する座学(境内北東、信徒会館にて)

参加費：4,000円(午前・午後のみ参加も可能、各2,000円、主催・共催の会員外は各々+500円)

定員：30名(先着順)

■スケジュール

9:45-10:00	現地集合・受付(東門前)	
10:00-11:30頃	重要文化財本隆寺本堂ほか2棟保存修理工事現場の見学・解説	小宮 睦氏 (京都府文化財保護課副課長)
12:00-13:00	昼食休憩	
13:00-15:10	座学①(仮)社寺文化財修復の耐震改修について	菅澤 茂氏
15:20-17:30	座学② 伝統木造の構造性能評価と耐震補強事例	立石 一氏
17:30頃	現地解散	

■講師プロフィール

菅澤 茂 工学院大学修士課程修了。工学院大学総合研究所客員研究員。総本山知恩院国宝御影堂修理事務局技術顧問。鹿児島県鶴丸城(島津氏)御楼門再建工事顧問。上級文化財保存修理技術者。元京都府文化財保護課専門幹。

業務経歴：国宝本願寺御影堂・本堂 国宝知恩院三門・経蔵、重要文化財清水寺三重塔、重要文化財教王護国寺(東寺)東大門、国宝東寺五重塔・金堂、ユネスコ世界遺産ウガンダ共和国カスピ王墓災害復旧(防災部門)ほか。(文化財関連のみ抜粋)

立石 一 S44 京都大学工学部建築学科卒業。S46 京都大学大学院修士課程修了(鉄骨構造講座)。株式会社竹中工務店入社(設計部構造設計課)。S54 立石建築事務所開設。H2 株式会社立石構造設計開設。

業務経歴：重要文化財本願寺御影堂修復工事(京都)、重要文化財旧トーマス邸災害復旧工事(神戸)、重要文化財旧神戸居留地十五番館災害復旧工事(神戸)、重要文化財地蔵院本堂および鐘楼保存修理工事(鈴鹿)、京都府指定京都府庁旧本館耐震補強計画(京都)、重要文化財萬福寺松隠堂耐震診断(宇治)、重要文化財同志社クラーク記念館耐震補強計画(京都)ほか。(文化財関連のみ抜粋)

※JIA文化財修復塾 現地講座として参加の方は午前・午後両方の受講が必要です。(半日受講の場合、履修時間の関係上、現地講座1回分の単位取得とはなりません)

当日連絡先：090-1488-3130 (長瀬)

本隆寺 本堂・祖師堂・附廊下

本堂は明暦3年(1657)に上棟。桁行21.6m、梁間18.8m、入母屋造、本瓦葺、洛中における日蓮諸宗本山寺院の中では最古の遺構。七間堂の規模を有する。平面は内陣・外陣・脇陣で構成され、内陣中央に須弥壇、両脇に宮殿を据えた脇壇が置かれる。今回は建立以来、初めての根本修理であり現在半解体修理として工事を実施中。平成31年からは組立工事に折り返す予定。

[引用：京都 保存修理の現場から2018(京都府教育委員会発行)]

修理前外観写真：上段／本堂、下段左／祖師堂、

下段右／附廊下



本堂 修理前外観



付近見取図



交通アクセス 電車…京都市営地下鉄「今出川駅」下車 徒歩約18分

バス…京都市バス「今出川大宮」下車 徒歩約5分、または「千本今出川」下車 徒歩約10分

申込先：日本建築協会京都支部 事務局（担当者：柴谷） FAX：075-255-6077

<2/21 本隆寺修理現場見学研修会> 参加申込票 ※受付後連絡のため、必ず全て御記入下さい

□氏名 * _____ □当日連絡先 * _____

□勤務先 * _____ □FAX / Mail * _____

□申込 * 全て参加 / 午前(見学)のみ / 午後(座学)のみ

□所属 * 日本建築協会会員 / 日本建築家協会 (JIA) 会員 / 非会員

※いずれかに○印

※事務局使用欄

2/21 本隆寺修理現場見学研修会 受付しました。

当日会場へお越しください。

受付印

受付印	
-----	--